

平成 21 年度第 1 回図書館利用者懇談会（恋ヶ窪図書館）

日 時 10 月 21 日(水) 午前 9 時～12 時
場 所 恋ヶ窪公民館 会議室
参加者 市民 1 人

本多図書館長より挨拶

恋ヶ窪館長より改修工事とそのための休館の概要説明

工事期間 12 月 8 日～2 月 22 日

- ① 耐震補強工事が中心。外側の壁を補強する形。
- ② 給水設備改修工事・・・水道管工事
- ③ アスベスト除去・・・以前、夏に除去工事を行おうとした際に反対があり中止になった。除去には細心の注意を図る。学校の冬休み期間に行う。
- ④ 屋上から上の部分の煙突撤去
- ⑤ 地下、旧機械室スペースの図書館閉架書庫への改修工事
- ⑥ 2 階「お話し室」改修工事・・・公民館から、図書館が利用しないときは保育室として利用したいとの希望があり、改修することとなった。
- ⑦ 公民館・図書館トイレ改修工事 臭気問題の改善・・・「誰でもトイレ」への改修（入口を引き戸から変更）・トイレ壁面の耐震工事・男女トイレの配置入れ替え
- ⑧ 電気設備改修工事

図書館：長期間不自由をかけるようになるが、今後図書館・公民館として使い続けられるために必要な工事を行わせていただきたい。

意見：アスベスト除去工事に以前反対があったことは今回初めて知った。工事自体は賛成。直近の地域住民にはチラシなど配ったと思うが、他の市民には降ってわいた話である。交通整理などどうするのか。

図書館：交通整理などは、工事関係者ときちんとつめていく予定。

意見：市民に情報を伝達していく手法が少し欠けている。恋ヶ窪図書館には 10 万冊資料があるようだが、地域資料が多く一般書が少ないのか？地域資料は閉架書庫に入れるようになるのか。閉架書庫に入っても、要望があればすぐに提供できるような体制が必要。

図書館：地域資料収集館なので、除籍できない資料が多い。今の開架を維持しつつ、閉架書庫を活用していきたい。他の図書館で未所蔵の資料が多く、複数保存する必要もある。閉架書庫をうまく使っていきたい。

図書館：光図書館にも地下に閉架書庫を造ったが、一般書を置いている。恋ヶ窪では、地域資料のストック分の置き場所として使いたいと考えている。

意見：もとまち図書館では閉館中に蔵書点検を行うと言っていたが、恋ヶ窪図書館も蔵書点検を行うのか。

図書館：恋ヶ窪図書館も蔵書点検を考えている。出来る限り徹底してやっていきたい。利用者から求められた時に、紛失していたり、すぐ提供できないような状況を改善したい。使い勝手の上では良くなると思う。

意見：大がかりな工事だが、予算は前年度に取っているのか。

図書館：追加工事は今年度補正をしているが骨格は前年度に予算を取っている。

意見：耐震の工事ならば都や国から補助は出るのか。

図書館：公民館が管理しているので補助割合などは細かくは分らないが、補助が出ると聞いている。

意見：今回の工事を機会に、地域資料として昔の資料や国分寺の資料など、きちんと保存していつてもらいたい。

図書館：保存は行政が担っていく必要がある。地下閉架書庫は、図書館としてなんとかいいものをと考えて計画した。エレベーターはできないので手運びとなる。市民の方の見学会なども考えている

意見：良くなったところを利用者の目に見えると良い。

図書館：今回は耐震と採光について考えた末に、V字の鋼材による耐震補強となった。

意見：設計は、名のある業者がするのか。

図書館：図書館をゼロから作る時には名の通った設計者へ依頼を考えることもあるが、今回は耐震補強なので、市の建築担当者と設計業者と施設職員で細かい打ち合わせを行っている。

意見：西国分寺地域に図書館が欲しいとの意見も昔あった。

図書館：要望にそってすぐつくれるような、国分寺市の財政状況ではない。

意見：ブックポストに本を入れるのはいやだという人もいるが、西国分寺にブックポストができ、便利になってよかった。朝の開館時間が30分早くなったのも良かった。どのくらいの距離があるか調べるため、全図書館に歩いて行ったことがある。確かに西国分寺のあたりは図書館まで遠いが、ほかの市の図書館と比べると良い方なのではと思う。

意見：小金井市の図書館との市民相互利用は考えているのか。

図書館：小金井市からはそのオファーがある。小金井市民の方は国分寺市の図書館を利用するが、国分寺市民で小金井市の図書館を利用する人は少ないのではと思われる。お互い利便性があるならばいいが、小金井市民の方の登録・貸出が増えると、国分寺市民の方の利便性が圧迫されるだけ

ではないかと考えられている。現在、府中市と国分寺市の関係では少し府中市民の利用のほうが多いが極端なものではない。

国分寺市の教育委員会や市役所全体として考えていく必要がある。小金井市だけでなく小平市にもいえる。

意見：国分寺市民が小金井市の図書館を使うのは確かに少ないかもしれないが、お互いに使えたほうが良いのではないか。

図書館：小金井市にお住まいの方が国分寺市の図書館を使いたいと意見をもつのは自然だと思う。ゆるやかに広がっていけばいいという考えもあるが、市としては施設の維持管理費・図書費などぎりぎりの対応しなければならない中で、ただ広げていくのは厳しい。理念としては広域的な図書館サービスも必要だとは思っている。

意見：市長は情報提供をするという公約を掲げて当選したのだから、小金井市の人も国分寺市の図書館を使えるようにしてほしい。ゴミ問題も、他の市と協力してやっている。図書館も、小平市・小金井市とも連携していく必要があると思う。図書館として、閉鎖的にならない方がよい。

図書館：図書館は利用されるためにある。利用できる範囲が広がった方がよいが、お互いにメリットがないと進まない。ゴミ問題などもそうだが、図書館だけの問題ではなくなっている。国分寺市の市民の側から意見をいただいたのは初めてなので、ご意見として伺わせていただく。

意見：図書は市の税金で買ったりはするが、柔軟性があって良いと思う。

意見：I C タグの話がもとまちの利用者懇談会で出たが、今後の長期計画・日程表のようなものはあるのか。

図書館：貼付の予算は5年間毎年計上をしていく予定。今年度は7万冊を本多図書館の蔵書に貼る。来年度に本多の蔵書だけ貼り終わったら、機械も本多から導入し稼働したいと考えている。駅前の再開発図書館の稼働の前には、全館のI C タグが運用できるようにしたい。

意見：再開発の図書館のスペースはあまり大きくないと聞いたが。

図書館：去年11月の議会では400㎡となっている。

意見：では5万冊くらい入るのか。

図書館：パソコンやCDなども置くので書架スペースはそれほどない。デジタル分野はどんどん進歩しているが。開館時間はどうするかなど、まだ固まっていない部分が多い。

意見：再開発計画は11ヵ月遅れることになったが、図書館とLホールを入れることは決定か。入るなら最新施設の使いやすい図書館を入れてほしい。

図書館：大きい事業であるので、プランが問われる施設だと思う。

図書館：今回の工事は耐震工事中で、目に見えてすぐに施設が良くなるかと

いうと、そういうわけではない。地域資料がいい状態で整備されていくことを目指している。

意見：耐震工事は、病気の部分を直すようなものだと思う。アスベストの心配がなくなるのも良い。地域資料は永久に不滅にしておくべき。国分寺市の行政資料がきちんと所蔵していることはとても良いことだ。

意見：閉館していて困る市民へのフォローは考えているのか。

図書館：本多図書館・並木図書館・駅前図書館など開館している館を利用して頂き、予約の本も指示してもらった図書館で受け取ってもらう予定。

平成21年度第1回国分寺市図書館利用者懇談会（光図書館）

日 時	平成21年10月29日（火）	午後2時～3時45分
場 所	光公民館	大会議室
参加者	市民4人	

1. 光図書館長より挨拶

本日は、本多図書館長（課長）から国分寺市立図書館の20年度報告と21年度事業概要をお話してから、光図書館長より光の耐震工事に関する報告をして、質問ご意見等を伺いたい。

2. 課長より国分寺市立図書館の平成20年度報告及び21年度事業概要の説明（資料を見ながら）

3. 昨年度・本年度の図書館事業に関する質疑応答

意見：国立市の図書館は休館日をずらしている館があるので、便利に利用している。国分寺でもこのように休館日の設定を変更できないか。

図書館：市内の館をグループに分けて休館日をずらすのは電算システムのメンテナンスをする上で、不可能ではないが困難なことである。その代わりではないが、本多図書館以外の館での開館時間延長を課題として考えている。

意見：国立市の図書館のように、週に2日くらいは夜8時まで開館してもらえると良い。

意見：一般書の受け入れ数と除籍数はほぼ同じなのに、児童書の除籍数が少

ないのはなぜか。

図書館：一般書の中でも実用書は年版の古い物から事務的に除籍ができる。館内が狭いから、それ以外の本も市内に複数で利用が落ちたなど、理由がつけられれば除籍している。一方、児童書は担当者が忙しくて除籍作業が進んでいない。児童書は、団体貸出が多い学期初めには書架の本が少なくなり、学期末に返却されてくると書架があふれてしまう状態である。

意見：一般書の団体貸出はどういうところに行っているのか。

図書館：各学校の学級が児童書を借りる際、一般書も混ぜて借りていく。また、市内の読書サークルにも団体貸出を行っている。

意見：図書館内での定例お話し会や、講演会・講座・映画会の催しが本多図書館で少ないのはなぜか。

図書館：この資料の数字は図書館職員が主催しているものだけで、本多は市民グループがお話し会などの活動を行っている。本多は団体登録数がとても多く、そちらの業務量が多くてどうしても職員企画のものが少なくなってしまう。その中で12月からは本多でも職員による乳幼児向けのお話し会を月一回行う予定である。

4. 課長より市内各図書館の工事休館日程について説明。

5. 光図書館長より光図書館の耐震工事について説明。

6. 光図書館の耐震工事に関する質疑応答。

意見：鉄骨がフロア内に入るようだが、館内が暗くならないか。また、歩きづらくならないか。

意見：館内の明るさなどは、公共施設は何ルクス以上と決まっているはずだから、当然それは守られた設計になっているはずだ。しかし本多図書館は暗い。

図書館：本多図書館に関しましては、明るさが確保されているか、もう一度確認する。光図書館は今回の耐震工事によって、書架が少なくなる、館内を動きにくくなる等の問題点を様々考慮した結果、説明したような設計になった。窓側に鉄骨の筋交いが入るので現在よりどうしても暗くなってしまう。また、一部段差ができてしまい、そこを避けるには児童コーナーから回っていただくことになる。

意見：このように長い工事期間に対して、利用者へのフォローはどう考えているのか。多くの人にとって、光図書館が最も至近の図書館であり、

学習、読書の場としての図書館の存在がある。

図書館：本多は2か月の休館中、駅前図書館が近くにあったので、そこでの受取りをお願いできた。光は臨時の建物を建てたり、そこへ大量の本を移動したりすることは不可能である。11月までに受けたリクエストの本の受取りなどは、他の館での利用をお願いするしかない。

意見：公民館は使えるのだから、事務室はそちらで用意できるのではないか。

リクエストカードを持参したら受付けてもらえないか。たくさんリクエストするので、電話ではそちらも大変ではないか。

図書館：一月半ばまでは騒音などで事務室にいられない状態なので、公民館の一部屋を事務室代わり借りる予定である。その後は工事をしながら正常には使えない状態の事務室をやりくりして仕事を行うつもりである。公民館を3月まで長期に借りることは、公民館利用者が多いのでできない。

光の休館中、受取りが他館でしかできないので、リクエストも受取り可能な他館に申し込んでいただくように考えていたが、電話・FAXなどで光でも受け付ける事は検討する。但し、騒音などで電話対応もやりにくくなることが予想される。

リクエストカードの持参は、図書館事務室の入口付近が工事の関係で安全に入ってもらえない状態になるので、無理だと思う。

図書館：工事中光の蔵書は、かなりの部分が取り出せない状態になる。利用していただけるのは、新しく購入した本と一部の雑誌、事務室閉架と地下閉架の本になる。

意見：例えば、並木へのシャトルバスを用意するとか、並木への利用をもっと促すアナウンスが必要なのではないか。工事で止むを得ないのはわかるが、4か月の閉館はあまりにも長いので、利用者のことをもっと考えるべきである。

図書館：バスの用意や、数万冊を代替施設へ移動してそこで閲覧できるようにする等は、財政上や電算施設を整備して、事務を行うことを考えると無理なことだ。

本多が休館中は恋ヶ窪の利用が多くなった。また駅前分館を臨時に8時まで開館し、職員が交代で勤務した。光の休館で他館（並木等）があまり混むようなら、その時には職員をやりくりして増員する準備はある。

意見：バスや代替施設の用意は無理なのはわかった。

意見：耐震工事の必要性はわかるが、その期間のバックアップ体制が図書館の任務である。工事終了後の出来上がりに期待したい。

今回の耐震工事は市の動向に関心を持っている私にとっても降ってわいた話に聞こえる。もっと前から市民に知らせる必要があったのではないか。

図書館：今年度当初に耐震工事をしなければいけないことは決まっていた。しかし、実施日程は未定であった。業者が決定したのも先月である。最終的に工事日程がわかったのは半月前である。未確定の部分を残してでも、もう少し早くお知らせすべきだったとは思っている。お金や時間がない中で、利用者に対して最良のサービスを行っていくにはどうしたら良いか、伺ったご意見をもとに考えていく。11月に向かって、市民へのPRの方法を考えていきたい。

7. 図書館全体に対する要望など

意見：図書館の休館日について。月曜日を開館して、電算機能を動かさなくても時間を過ごせる場としての図書館ということで、国分寺独自のサービスとしてやってはどうか。このようなサービスは他市に対して誇りになる。

意見：身体の不自由な人、来館できない人への対応はどうなっているのか。リクエストする人と取りに来る人が別なケースはどれぐらいあるのか。

図書館：来館できない方は、電話でリクエストしていただいたり、代理の方が来館していただいています。本の配達サービスを職員やボランティアで行っている市もあります。カードさえ持参していれば、代理の人でもリクエスト本の受取ができるので、人数の把握はできない。

意見：以前に、多摩地区全域で共通のカードで借りることができるという話を聞いた。

図書館：現在、多摩地域で共通のカードで貸出ができる制度はない。京王線沿線の7市協定などあるが、共通カードを発行しているのではなく、協定市でそれぞれのカードを作って、貸出等のサービスを受けるようになっている。市長は、中央線沿線の協定を提唱していた。また、多摩地域公立図書館大会では、多摩全地域で相互利用ができる構想も上がっている。現在、国分寺市民は、国立と府中の図書館が使えるが、国立市からは、国分寺市民の利用ばかりが多くリクエストもたくさん受けていて、困っているとクレームがきている。

意見：国立市民はなぜ国分寺の図書館を使わないのか。

図書館：光図書館には他の市が持っていない専門的な本があるので利用しているという国立市の方もいたが、一方で本の量が少ないのであまり利用しないという意見も聞いたことがある。

国分寺市民は、西町の方が市境に近い国立の北市民プラザ図書館を

よく使っているようである。

平成 21 年度第 1 回国分寺市図書館利用者懇談会（もとまち図書館）

日 時	10 月 20 日（火）	午後 2 時～3 時 30 分
場 所	もとまち公民館	会議室
参加者	市民 5 人	

1. 国分寺市立図書館の現状と今年度の事業予定について

- ・配布資料「国分寺市立図書館の平成 20 年度報告及び 21 年度の事業の概要」に基づき説明。
- ・もとまち図書館は、昨年度開館 30 周年だった。日ごろ図書館を大事に利用していただき感謝している。今年度は、上橋菜穂子さんの講演会に 150 名の参加があった。東元町文庫さんとの共催講演会では、飯野和好さんを講師に迎え、いずみホールで開催し、130 名が参加した。

2. 耐震工事について

- ・平成 21 年 12 月 14 日（月）から平成 22 年 3 月 15 日（月）まで休館する。
- ・耐震工事として壁面にスリットを入れ高架水槽の撤去を行う。図書館部分のトイレを全面改装し、「だれでもトイレ」にはオストメイトなどを設置する。
- ・公民館は、12 月 1 日～3 月 31 日まで 4 か月休館する。

3. 図書館サービスについて

意見：利用者懇談会は、PR でチラシを配布しているようだが、わかりにくい。

図書館：PR に努めているが、なかなか周知できず申し訳ない。チラシ・ポスターの掲示・市報・図書館ホームページで PR している。

意見：読みたいと思いつつも、重たい本を持って帰ることができない。リサイクルの本だと、返却期日を気にしないですむので、貰って読んでいる。

意見：図書館に並んでいる本よりは、本を取り寄せて貰って利用している。駅前分館でパソコンをよく利用している。

意見：参考資料室の机と椅子のスペースが近くてぶつかってしまう。

意見：おはなしグループが学校に出前をした際、図書館から本を借りて教室に置くことができるようになり良かった。

- 意見：児童サービスは充実しているが、大人向けの講演会もしてほしい。
- 意見：統計は、数字だけでは、昨年比べて多いのか少ないのかわからない。
- 図書館：貸出や予約などの利用状況は全体的に増えている。蔵書数は、本棚も書庫もいっぱい状況である。
- 意見：図書館だよりに、市民の意見が取り入れられるような工夫がほしい。
- 図書館：常設の市民との交流の場がない。図書館だよりは市報に挟み込みで掲載されるため、全体的に柔らかくするのが難しい。
- 意見：理数系の書物がもとまち図書館には少ないのではないかと。科学は進歩するので新刊を置いてほしい。
- 図書館：図書の選書の時に新刊を購入するように努める。
- 意見：文庫本は作者別に並んでいるが、外国の推理作家と純文学を別置してほしい。
- 意見：コーナーづくりに参加したい人の募集などをしてほしい。
- 図書館：展示コーナーなどを使い、興味の引くような本の展示をしていきたい。

4. 図書館の改装工事について

- 意見：耐震工事を行うのはわかる。利用しやすい図書館になるのか。どこに何があるのかがわかりやすくなるよう、見出しや案内板を入れるのか。
- 図書館：国からの補助金の関係で今年度中に工事をしなければならない。時代に合った図書館の様式替えが出来ればよかったが、耐震補強と故障部分の改修のみとなっている。給・排水管の水道管の交換工事を行う。トイレは経年による劣化を補うために改修する。
- 意見：どの部署が主体になって工事の計画を進めているのか。
- 図書館：図書館公民館が主体となり、市の建設部建設課が仲立ちし進めている。
- 意見：これだけの長期間休館をなぜしないといけないのか。利用者にも改修工事のことを事前に周知し意見を聞いてほしかった。こういう時こそ市の予算を捻出し、図書館の向上を図るべきではなかったのか。
- 意見：書架の固定は大丈夫なのか。
- 図書館：壁面の本棚は固定されているが、それ以外の本棚は、床に固定していくことが必要と考えている。来年度以降予算を確保するよう考えていく。
- 意見：壁や本棚に、緊急時の逃げ方を貼っておくなどしてはどうか。
- 意見：図書館の安全は誰が評価しているのか。図書館のコンピュータシステムも誰が確認をしているのかが解らない。
- 図書館：主管課である図書館の自己評価ないしは利用者からの声を貰っている。業者に丸投げはしていない。

5. ICタグについて

意見：ICタグは全体でいくらかかるのか。

図書館：ICタグは1枚60円から70円ぐらいである。データ情報の変更ができる仕様になっている。

意見：雑誌の古いものがない時があるのは、紛失したことになるのか。

図書館：ICタグを貼りゲートを設置すれば、一応無断持ち出しを防げる。また自動貸出機を導入することを考えている。今年度は、ICタグ購入費500万円、ICタグ貼付委託料300万円の予算が付いている。

意見：500万円もかけてICタグを使う事が本当に必要なのか。そのお金を他に使用すべきではないか。

図書館：盗難防止や、蔵書点検の短縮化を図ること、自動貸出機の導入でプライバシーの保護に努めるため導入を検討し、長期総合計画に載せた。国から貼付費用300万円の緊急雇用の補助金が付いた。

意見：ICタグを導入するのであればベストのものにしてほしい。機械化よりも、もっと人間的なコミュニケーションのとれる図書館になってほしい。

意見：ICタグのために、図書館の他の予算が削られないようにしてほしい。

5. 指定管理者制度について

意見：現在、「アウトソーシング基本計画」でパブリックコメントを募集している。図書館も委託の対象になるのではないか。小金井市はカウンターが委託になる。国分寺市は当分の間直営ということだが、「当分」とはいつなのか。直営の職員が必要であるという根拠を出す必要がある。

意見：図書館の中央館構想があり、指定管理者の動きがあると聞いたが、市民が後になって知るのでは困る。

図書館：国分寺駅北口前の開発ビルに図書館が入ることになっており、平成26年に開館予定である。アウトソーシングについては、今のところ個別の課を対象としているわけではない。

意見：指定管理者制度にしない方が良い。国分寺市は非常勤職員が多くなっているというテレビ放映があったが、職員のレベルがダウンしているのではないか。雇用の時によく考えてほしい。

6. 職員構成について

意見：図書館の職員構成はどうなっているのか。司書はいるのか。

図書館：課長（本多図書館長）、各館長及び係長、正職員、非常勤職員（嘱託職員）、臨時職員で構成している。正職員・非常勤職員（嘱託職員）の司書率は6割から7割になる。

意見：非常勤職員（嘱託職員）は経験者なのか。教育はどうなっているのか。

図書館：司書資格を持っていることは義務づけられているが、経験者かどうかは問うていないので、応募した方の中から選出している。カウンターなどでの対応は、常にレクチャーをしながら行っている。

平成 21 年度第 1 回国分寺市図書館利用者懇談会（並木図書館）

日 時	11 月 4 日（水） 午前 10 時～12 時 15 分
場 所	並木公民館 小会議室
参加者	市民 3 人

1. 課長説明

○配布資料に基づき、平成 20 年度報告及び 21 年度の事業概要の説明。資料を回覧し、市民サービス向上のための指針・答申や「子ども読書活動推進計画」の内容・実施事業等の説明。

2. 図書館の工事内容説明

○工事のお知らせを資料として配付し、一階からの階段部分と入り口までの床改修や音の出る工事の内容等について説明して、休館の協力をお願いした。

3. 質疑応答

①平成 20 年度の事業報告について

意見：並木図書館の個人貸出の冊数とは、並木で貸出した数ということか？

回答：並木図書館の蔵書を貸出した数ではなく、他館の蔵書も含めて並木図書館で貸出した冊数を表したものです。

意見：地域の特性（新興住宅が増えたところや高齢者世帯の多い地域）、子どもやシニアの状況、若い人たちのアクティブな層のことも考えてほしい。

意見：東経大図書館の蔵書が見られるのか？

回答：東経大図書館の利用カードが図書館には用意してあり、カードの貸出しは 1 ヶ月です。

意見：障害者サービスの充実の中で、デジタル化で「点字図書」・「声の図書」について地域の図書館がどう関わっていくのか？利用者にとってどのようなサービスをするのが良いのか？日本点字図書館から借用しての貸出

(新刊は早く読みたいのではないか)を迅速に行う方が大事ではないか？
中途半端なことはしない方がよい。

回答：介護者がいたり周りの人たちがいる障害者の方は良いが、一人きりの障害者にとっては、地域図書館での利用は大切である。著作権法改正により朗読資料は著者の許諾なしに作れるようになる。情報の共有化により所蔵の図書館から借用して貸出することが増加している。

意見：学校図書館との連携で図書の配送をどうするのか？市立図書館と学校図書館とは、密接な関係をもってほしい。

回答：子ども読書活動推進計画を実施していく中で考えていく。

意見：おはなし会はもとまち図書館の回数が多い。定例的なお話の会の回数が各館バラバラだが、今後は他の館でも回数を増やしてほしい。

回答：もとまち図書館では学芸大学の学生と一緒に入ってやっているが、他館の回数は職員だけで実施している回数である。子どもが本に触れ合うために、子どもだけでなく小さい子の保護者のへの接し方も重要であり、全体的にお話会の回数を増やして行くようにする。

意見：お話の会などのサービスは、どこの館でも同じような対応が大切であり、お話をする人が少なければそういう人を育てることも大切だと思う。

回答：本多図書館では市民グループの中に職員が入りいっしょにやることもある。小学校高学年になると図書以外への興味が多くなり、YA世代に対しての働きかけが必要だと思う。

意見：高学年になると本を離れていくのは、受験や部活動に時間を費やすためであり、大人になって必要性があれば、自分から本に対して積極的に関わっていくのではないか。

意見：自分の周りに本があることが大切である。保育園など子ども施設への団体貸出の配送も課題である。

回答：調べ学習による学校への貸出でも、配送は課題となっている。

意見：配送の問題は長いスパンで考えてほしい。職員の力量によるが、本の探し方は、調べる力を養うために是非図書館で教えてほしい。

回答：調べ学習については、学校図書館に司書が配置され充実してくると思うが、学校の中に司書へのアドバイスをする人が不足ないので、図書館職員によるアドバイスやフォローが重要だと考える。

意見：学校司書への支援が、学校と公立図書館の連携を生み、将来的には子どもへの支援につながると思う。

②職員について

意見：前回の利用者懇談会で接遇の問題を指摘したが、今はカウンターでの対応は良く満足している。小さい子たちへのレファレンス対応や障害者サ

ービスの充実を更にお願ひしたい。また、列で並んでいる人がいたら待たせずに別の窓口での素早い対応を望む。

回答：図書の内容についてと人と接することの二つあるが、もっと良くなるようにしていきたい。

③工事について

意見：光・恋ヶ窪図書館の長期休館中の並木図書館の対応についてだが、特に光図書館の利用者が並木図書館へ流れる可能性が大きい。その時になっての対応でなく、初めから諸問題を想定して対応を考えてほしい。利用者増大による窓口混雑や接客サービスの徹底など…(本多図書館の休館では駅前図書館によりフォローできたが)

回答：休館する館は、団体貸出の前倒し貸出を実施したりしている。その他の利用者サービスが低下しないような対応を図っていく。

意見：光図書館の職員が並木図書館へ応援に来たら良いのではないか？

回答：光図書館では、休館中でも工事のため本を移動などの室内作業が多い。リクエスト本の多館への配送作業もあるが、並木図書館へのバックアップは必要だと考えている。

④その他

意見：週に2～3回、一時間位図書館を利用しているが、書架の下段にある本を見るのがつらく疲れるので、上下入れ替えるなどして欲しい。年寄りには取り出しづらいので、レイアウトを考えてほしい。本多図書館とか光図書館では小説と随筆が書架区分により分かれているが、並木図書館では一緒になっているので分けたらどうか？

回答：小説は作者別の50音順だから下段になるのはいつも同じで基準を変更しないと並び替えは出来にくい。分類的には小説とエッセイは本来は別の棚がだが、並木図書館では数年前に工夫して一緒にした。作者順を崩すと利用者が本を探しづらくなるため、すぐに現状を変えにくい。

意見：幼児・児童コーナー本の棚はととも見易く探しやすいと並べてあり、非常に良いと思う。

回答：ゆっくりと選んでいられるような雰囲気にしていきたい。

意見：パソコン上のベストリーダーは、見るときに少し重たくなる。検索機能を使いこなせる利用者が多くなると良いが、出来る利用者ばかりではないので、職員の仕事の時間減までにはなっていない。

意見：図書館は不特定の市民の方が利用している。書棚の死角もあるので、定期的な見回りとカウンターでの利用者へのチェックをお願いしたい。

回答：当然、利用者の安全・安心は重要である。全職員に説明し、書架に出た

時には見回りや不審者のチェックを徹底していきたい。

平成 21 年度第 1 回国分寺市図書館利用者懇談会（いずみホール）

日 時	11 月 11 日（水） 午前 10 時～12 時
場 所	いずみホール 練習室
参加者	市民 7 人

図書館：本日はお集まりいただきありがとうございます。

西国分寺駅南側に図書館がなく、要望のブックポストを設置し回収便を運行するようにして1年以上が経過しました。この地域の図書館建設は課題として認識しています。お配りした事業概要に書いてある図書館運営協議会「答申」やそれを受けた教育委員会の「指針」にも、西国分寺駅南側が図書館空白地域であり人口も急増しているため、地域図書館を設置する必要があると書かれています。市内町丁名別登録率分布図でも30%以下が如実に表れています。しかし長期総合計画には載っておらず、すぐ図書館建設の話にはならないと思われま

す。ブックポストの利用状況としては、一度の回収で7箱から8箱約300冊前後が入っており、5割が恋ヶ窪、3割がもとまち、あとの2割がそれ以外という割合です。週3回の回収でポストに返却して図書館に行った時まだ貸出中のままの可能性もありますが、その場合の貸出は可としています。そんなにこのケースが有る訳ではないです。来年度予算では、回収便を増やせるよう要求しています。

本多図書館が空調工事で休館し開館したばかりですが、恋ヶ窪・光・もとまち図書館で耐震補強工事をするため2～4ヵ月休館する予定です。並木図書館も屋上や壁面の改修工事のため11月下旬に一週間休館します。

駅前分館は国分寺駅北口駅前再開発に伴い、平成26年度に駅前ビルの最上階に広くなって入る予定です。今日はいろんな要望やご意見をお聞かせ願いたいと思います。

市民：いずみホール前にブックポストが出来てよかった。借りる時は目的をもって図書館に行くが、返す時わざわざ行くのは面倒で、近くに出来て気が楽だ。駅前分館はリクエストの受取が出来て便利。同じように、予約

した本が届けられ受け取れる窓口が西国分寺駅前にもあればよいのに。

市民：本を借りるきっかけは本屋で見たり友達に聞いたりしたものを、図書館のホームページで検索して、予約することが一般的になっている。そこに行って本を選べる地域図書館を作るとなると10年も20年もかかってしまう。小さな児童書だけの分館を作って、そこでリクエストも受け取れるようにするのなら比較的容易に作れるのではないか？ブックモバイルを運行するということも考えてみたらどうか？

市民：学校図書館の地域開放をしたら利用しますかというアンケートが子どもを通わせている4小でとられていた。どういうことか？

図書館：「子ども読書活動推進計画」の中の課題であった「学校図書館地域開放」のために教育委員会で検討委員会が設置され、検討しています。

市民：学校図書館は学校の生徒のためのもの、カリキュラムの中で必要な本なのだから、貸出はしないでほしい。

市民：幼児にも学校図書館の開放をすると聞いたが本当か？そこで働く人をボランティアでとも聞いたが、資格ある人に有償で働いてもらいたい。

図書館：4小の校長とPTA代表も委員になっているが、今の所、貸出はしない、人を雇うという方向になっている。

市民：図書館内でぶらぶらして思わぬ本に出会うというのも良いが、西国分寺駅前に、返せて取り寄せできる場所が欲しい。近くにあることで私達の図書館という親近感がもてる。

市民：私の子どもは、ネットで調べてたくさん用意してもらい、一気に借りて一気に読んで、西国分寺駅前のブックポストに返すという利用をしている。今の若い人はうまく利用している気がする。

市民：私には、遠くの図書館でも出かけて書棚から直接選びたいという子と、本多図書館の蔵書では不十分なので大学図書館をもっぱら利用している子がいる。私たち夫婦もよく利用しており、特につれあいは定年退職してからこんなに本を読む人だったのかと驚いている。年老いた両親は、図書館まで出かけることは出来ないので不憫である。

市民：図書館のホームページはトップがだらだら長すぎる。見にくい。他自治体を見習い、読んで楽しいホームページにしてほしい。また講演会等の情報が終わると消えてしまうのは残念。記録として残したらどうか？

ブックポストが滞留しているとリクエストに応えるのも遅くなる。交換便を毎日にし回転を速くすれば複本購入も少なくできるのではないか。

市民：駅前分館に「学校だより」がファイルされていた。また不採択の教科書もあって見比べられるので有難かった。

今までは「分館を」という要望は、西国分寺駅前に地区館を作って欲

しいという要望の妨げになると思って、言うのを抑えていた。西国分寺
駅周辺にも「本多図書館駅前分館」のような施設も有効だと思う。

図書館：今日はさまざまな意見を伺うことが出来ました。これからの運営に活
かせるよう努力したい。ありがとうございました。